

# YWVOB会 会報 No.47

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

<http://ywvob.com/>

2011年4月1日発行

## ～ 47号の目次 ～

・ YWVOB 会長ご挨拶	1	・ 2010 年シニア OB 月例会報告	8
・ 第 1 回 OB 役員会報告	2	・ 期別便り (1 期の現状)	11
・ 第 30 回記念 OB 山行 (箱根山) 報告	3	・ 自由投稿 (OB 山行箱根山)	13
・ 第 31 回 OB 山行 (毛無山) 案内	5	・ YWV 現役部員の活動紹介	14
・ 苗名小屋便り	6	・ 新主将紹介/近況の活動報告/2011 年度活動予定	
雪下ろし		・ YWVOB 会組織図	15
今後の山小屋行事予定		・ 編集委員からのお知らせ	15

## ■ YWVOB 会長ご挨拶

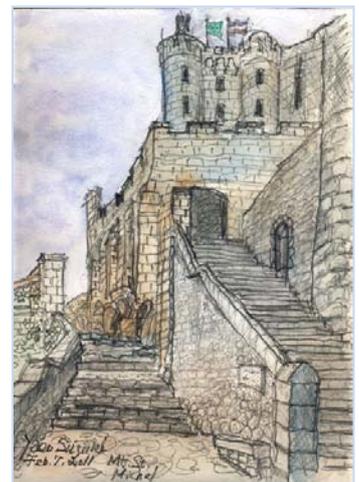
会長 鈴木弥栄男 (9 期)

先ずは3月11日に起きた東日本巨大地震のことに触れざるを得ません。M9.0という世界でも4番目の、日本では未経験の規模であり、国家存亡の一大事です。死者や行方不明者数が1万人超と、容赦無用の自然災害に直面しています。そして不幸にも被災された方々に我々は何も手を差し延べられないでおります。そこで4月16日開催予定の役員会にて義援金を出す決議をして、特別準備金の一部をそれに当てたいと考えていますことをご理解下さい。発電所の被害から計画停電や交通手段の縮小など、幸運にも被災していない我々も影響を受けていますが、国民全体がこの難局を共有化し、連帯し、大戦後の見事な復興の経験を糧とし、微力ながら協力してゆきたいと思えます。

日本は、地震、津波、豪雨、台風、火山の噴火など他国に比べ実に多くの自然の驚異に晒され、マイナス面を目の当たりにしていますが、一方四季のある、穏やかで、悠然と構えている豊かな自然にも接して癒されています。その自然が好きな仲間が我々であり、多くがワンダリングを継続しています。この会報がその継続に少しでもお役に立てればと願っています。



フランス・シャンボワール城



フランス・モンサンミッシェル城

# ■ 2011年第1回 OB役員会報告

副幹事長 西田雅典 (20期)

2011年1月15日(土) 14:00から川崎市「てくのかわさき」にて第1回役員会が開催されました。  
18名もの方の出席があり活発な意見交換が行われました。

【出席】 嘉納 (1)、吉野 (2)、吉村 (3)、松本 (8)、鈴木 (9)、榎本 (12)、小浜 (17)、山口 (18)  
笛木 (19)、石垣、武藤、安武、西田 (20)、横溝、白木 (21)、成島、山崎 (22)  
(現役) 野中 (52) 計 17人+現役1人

## 【内容】

### 1. 各委員会報告

- ①総務 (横溝委員長、武藤委員) : 第21号メルマガが完了、ソフトを購入し送信トラブルが減少
- ②小屋 (榎本委員長) : 1/29~30 雪下ろし実施予定 (以降 2/19~20、3/19~21)  
: 安全な雪下ろしにつき討議 (ストーブでの雪溶など)  
: 小屋のギャラリー (絵、写真) 設置討議 (決定)
- ③編集 (松本委員) : OB会報 47号 : 3/1 原稿締め切り、3/30 発行予定
- ④山行 (小野委員長) : 30周年記念山行 (箱根) 最終確認
- ⑤ホームページ (吉村委員長) : 現役のHPの保存・セキュリティ向上のためOB会の費用  
支援によりOB会と同じ「さくら」で設定 (決定) (6,800円/年)
- ⑥部史編纂 (嘉納委員長) : 部史資料の整理報告、今年度活動方針説明 (決定)  
⇒撮影済み資料を西暦ごとにボックスに保管し新設の棚に整理するなど部史資料整理  
進展。フォルダボックスは30箱追加 (計60箱)  
⇒文書撮影、名簿作成、歴史館開館など委員長以下担当を分担
- ⑦現役からの報告 : 11月大学祭 (カレー)、執行部は52期から53期へ (新主将は佐藤さん)  
2月雪下ろし参加、3月春合宿、51期はOB会に5人加入  
部史資料の整理

### 2. 特別準備金協定書の調印

- ・調印式・・・実施 (鈴木会長、52期野中主将)
- ・初回特別準備金活用 (会計幹事より報告) : ①テント 148千円 ②部室整備費 155千円  
⇒残高 : 6,296,376円
- ・その他 : 会報第50号記念号で特別準備金の活用を検討する (編集委員会)

次回役員会  
2011年4月16日(土) 14:00~  
てくのかわさき5階・洋裁実習室  
  
南武線・田園都市線  
溝の口駅から徒歩5分

# ■ 第30回記念OB山行（箱根山）報告

OB山行副委員長 小浜一好（17期）

## 【参加者】

嘉納（1）、吉野（2）、亀井夫妻（5）、松本（7）、松本、早坂、佐木（以上8）、下村（10）、山川（12）  
小口、狩野（以上14）、小浜（17）、堀内、山口（以上18）、小野（34）【以上山行+懇親会】  
谷上（4）、榎本（12）、白須（17）【以上懇親会のみ】 計19名

今回のOB山行は30回目の記念ということで、1月22日（土）～23日（日）の泊まりがけで箱根山と強羅温泉での懇親会に行ってきました。

天気にも恵まれ、箱根としては静かな山、源泉かけ流しの温泉、海山の幸をそろえたおいしい料理、楽しい仲間、と全て（？）を取りそろえた山行でした。

参加者は計19名、初参加は18期堀内さん、同期の中では一番の山女と呼ばれていた彼女ですが、長い間山には行っていないとのこと、ウェアから足元まで新調し、やる気を見せての初登場でした。

7時40分、海老名駅集合、車に分乗し一路大涌谷へ。下山先の姥子に車をデポし、相変わらず硫黄の匂いが鼻を突く大涌谷を9時30分出発しました。

この時期は静かな箱根の山を味わえる時期で、すれ違う登山客はたまにしかいません。今回の最高峰神山（1,438m）を難なく過ぎ、12時には駒ヶ岳に着きました。

駒ヶ岳は湖尻からロープウェイで上られるので流石に観光客でいっぱい。亀井夫妻とはここで合流し、冷たい風を避けながら昼食をとり、箱根神社に皆で揃って初詣をしました。

下山路はポピュラールートから外れて、芦ノ湖を左手に見ながら山を巻くように長く続く道を進みました。ここでは誰にも会いませんでした。最後は雪がたっぷり付いている北斜面の急な下り、アイゼンを持ってきた人は装着してスリルある下りを楽しみました。

姥子に着いたのは3時30分、車に乗り込み本日宿泊の強羅温泉へ、ここで懇親会から参加の3名と合流。



駒ヶ岳山頂にて富士山をバックに第30回記念撮影

「強羅文の郷（ふみのさと）」という旅館でしたが、土曜日の宿泊の割には1泊2食付きで9,500円/人とリーズナブルでした。旅館名物の岩風呂と懇親会での豪勢な舟盛りや鮑の踊り焼などの料理で山の疲れをいやしました。

また、恒例の自己紹介やOB山行の思い出話などで記念懇親会は盛り上がりました。

さらに小野OB山行委員長が独自に選んだOB山行の功労者表彰で盛り上がりは最高潮に。ベスト差し入れ賞の下村さん、ベストカメラマン賞の谷上さん、影のリーダー賞の吉野さん、今回残念ながら不参加でしたが、ベストドレッサー賞の鈴木会長が表彰されました。

小野さんが徹夜で仕上げた表彰状が秀逸でした。今度はOB山行に貢献して自分がもらいたいと思っただことでしょう。

吉野さんが用意された「OB山行10年の歩み」のパワーポイントが見られなかったのは唯一残念でしたが、またの機会をつくりますのでその時にお願いします。

初参加堀内さんは今後常連になっていただけそうですが、すぐ仲間として溶け込めるYWVOB会の絆を今回あらためて強く感じました。

最後に今回の記念山行にシニアOB会から多大なご寄付をいただいたことを報告し、深く感謝申し上げます。それでは皆様、次回第31回OB山行（5月14日（土）、毛無山）でお会いしましょう。

歩行時間 約5時間、歩行距離約 10km、標高差約 800m



駒ヶ岳神社にて集合  
2011.1.22  
撮影 よその人



小野山行委員長ご挨拶  
撮影 谷上氏（4期）



盛り上がった懇親会 撮影 山口氏（18期）

## ■ 第31回 OB 山行（毛無山）案内

OB 山行委員長 小野恵美子（34 期）

次回 OB 山行は富士山の麓、朝霧高原まで足を延ばして毛無山に登ります。新緑と薫風の季節、一緒に爽やかな汗を流して雄大な展望を楽しみましょう。初参加の方、お久しぶりの方、大歓迎！お車を出してくださる方、大募集！多くの方のご参加をお待ちしています。



〔日 程〕 2011 年 5 月 14 日（土）  
〔行 先〕 毛無山（けなしやま・1,946m）  
〔地 図〕 昭文社山と高原地図「富士山 御坂・愛鷹」

〔集合・交通〕 電車でのアプローチは時間的に難しいため、横浜・東京方面からマイカーを出せる方の車に分乗して登山口に向かう予定です。  
出発は 横浜・東京近辺 6 時頃になると思います。  
お申込みの際、お住まいの場所とマイカーか同乗希望かをお知らせ下さい。  
参加者が決まりましたら調整いたします。

東名高速富士 IC から 139 号線で約 50 分、または中央高速河口湖 IC から 139 号線で約 50 分。朝霧グリーンパーク入口を曲がり麓集落へ。  
登山開始は 9 時 30 分頃の予定。

〔行 程〕 麓山の家駐車場—不動の滝—朝霧高原分岐—毛無山—朝霧高原分岐—丸山—地蔵峠—麓山の家駐車場 [歩程約 6 時間 20 分]

〔参加費〕 500 円（写真代等）

〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、その他登山に必要な物

〔温 泉〕 風の湯（800 円）、天母（あんも）の湯（700 円）などあり。下山後ご希望の方はご用意を。

〔申込み〕 参加ご希望の方は 4 月末頃までに下記のいずれかにご連絡ください。

小浜 一好（17 期） 電話：090-8647-7275 メール：[kohamak@dream.com](mailto:kohamak@dream.com)  
山口 貢三（18 期） 電話：090-9962-7126 メール：[k2syamaguchi@nifty.com](mailto:k2syamaguchi@nifty.com)  
小野恵美子（34 期） 電話：080-5517-7320 メール：[emiko150@s9.dion.ne.jp](mailto:emiko150@s9.dion.ne.jp)



## ■ 苗名小屋便り

OB 小屋委員長 榎本吉夫 (12 期)

### 雪下ろし



2011 年 1 月 29 日 (土)、30 日 (日) に第 1 回雪下ろしを行いました。参加者は 10 期山本さん、14 期小口さん、30 期笹倉さん、34 期村山さん (日帰り)、39 期後藤さんの計 6 名でした。

今回は夜行バス、早朝新幹線、長野・新潟から自家用車で、それぞれ小屋入りしました。

先発は、山本さんと榎本で、旧渋民橋手前の林道からのトレースの無い新雪のラッセルに、還暦過ぎの 2 人ですので 30 分以上掛かりましたが 10 時過ぎに小屋に到着しました。

屋根の積雪は 70~80cm 程度で、雪下ろし作業は 11 時前から開始、まずはてっぺんの冠雪から屋根頂上の掘り出しから始めました。そして夕方方の 17 時頃には屋根の雪はほぼ下ろし終えました。

翌日 30 日は午前中、下ろした雪の排雪と柱の掘り出し(深堀はせず!)、造林小屋の雪下ろしを行い、後片付けをして 13 時 30 分頃小屋を出発、小屋の屋根には前夜から朝までの新雪が 30cm 程積もっていましたが、一部は宿泊の暖房で落下していました。

2 月 19 日 (土)~20 日 (日) にかけて、8 期佐木さん、10 期山本さん、12 期榎本、18 期山口さん、30 期笹倉さんの OB5 名、現役は、53 期佐藤さん (主将)、54 期谷口さん、斎藤さん、軍司さんの 4 名の参加を得て、第 2 回雪下ろしを実施しました。

夜行バスで 5 名、車 2 台で 4 名が、妙高 IC での事故で多少遅れましたが、朝 8 時前には五八木荘に集合、8 時 40 分頃出発しました。

天気も良く現役さんのスキー技術も問題なく、10 時過ぎには小屋に到着しました。

予想通り、小屋の屋根雪は少なくほぼ落雪しており、今回は、周囲の雪の排雪と柱掘り、数 10cm の造林小屋屋根の雪の雪下ろしを、総勢 9 名の威力で、夕方までにはほぼ完了しました。

夕食作りは、現役 4 名が山口シェフの指導のもと担当。お釜でのごはん炊きも完璧(?)で、おいしい食事とアルコールを楽しみました。

翌日は、午前中に全員下山。現役は 15 時杉野沢発のバスまで、スキーとスノーボーを楽しんで(?) 帰浜しました。



今年も 3 月 19 日 (土)~21 日 (月) に第 3 回雪下ろし&残雪の小屋に親しむ行事を実施する予定です。弥生 3 月は春間近で残雪?に親しむ最高の季節です。

初日は本来の雪下ろしですが、ここのところ軽負荷の作業となっています。2 日目は天気次第ですが事前の

計画で、残雪に親しむツアーを実施しています。

今までに笹ヶ峰・仙人池散策、メンバーと装備が揃えば三田原山へ小屋からピストンなどを行ってきました。また、小屋周辺で「イタヤカエデ」、「シラカバ」の樹液採取も試みました。



〈スキーシーズン  
が終わったゲレン  
デからの、三田原、  
外輪山〉



(三田原稜線からの妙高山本峰)



(2009年3月 三田原山 稜線にて)

### 今後の山小屋行事の予定

3月19日(土) 20日(日) 21日(月)

5月28日(土) 29日(日)

or 6月4日(土) 5日(日)

7月16日(土) 17日(日) 18日(月)

8月13日(土) 14日(日)

10月8日(土) 9日(日) 10日(月)

11月5日(土) 6日(日)

第3回雪下ろし/春山散策、屋根ペンキ修復塗り

小屋開き、山菜採り、雪囲いを外し、水道開通

写真&絵画 展示コーナー開設

5日京大ヒュッテ「コンサート」参加(検討中)

草刈り、17日に小屋よりピストン山行予定

(これまでに、高妻山、黒姫山に行きました。今年は？

今年は、飯縄山？、雨飾山？・・・)

小屋整備活動

秋の小屋行事、紅葉刈り、キノコ採り

小屋閉め雪囲いの取り付け

# ■ 2010年シニアOB月例会報告

シニアOB月例会委員長 塚原伸一郎 (2期)

## ■シニアOB月例会

シニアOB月例会(2007年まではシニアOB月例山行)は1999年1月に始まりました。2009年で丸12年続いています。当初はシニアの集いの行われる月を除いて毎月1回、年に10~11回開催されましたが、2008年からは年9回の開催となり、2010年12月で通算129回を数えます。

## ■2010年の月例会

2010年のシニア月例会は予定どおり9回実施されました。1月には横浜市最高峰大丸山に50名が集まり、2月は雪の縞枯山に登って快晴の雪山を堪能しました。

7月は霧ヶ峰で真夏の花々を鑑賞し、12月の忘年登山は千葉の高岩山に貸切バスで行き、1年の締めくくりをしました。下山後2010年各表彰を行いました。

この年9回実施されたうち7回は貸切りバスによる山行です。貸切りバスの活用によりマイカー出動の負担から開放されました。

2010年の年間延参加者は350名、1回あたりの参加者は38.9名と2009年に次ぐ高水準でした。

## ■通算実施状況

1999年の第1回から2010年12月の第129回まで、雨天中止が7回ありましたので、実施は122回です。通算参加者は4,020名、1回当たりの参加者は33.0名です。

## ■2010年実施状況

【第121回 大丸山】… 2010年1月23日 晴、50名

- ・朝から晴れ、風もそれほどでなく暖かく快適。1月はいつも参加者が多くて50名。
- ・いっしん堂で池原夫妻合流、鎌倉宮で亀井夫妻合流。
- ・3時間を越える歩きでのあるコースだった。

【第122回 縞枯山・茶臼山】…2月21日 快晴、37名 貸切バス

- ・冬期番外も6回目、37名もの参加を得て貸切バス利用。
- ・快晴微風、気温0度。風は冷たいが日差しは暖かい。
- ・アイゼンの利きが丁度よく、快適な雪山登山だった。

【第123回 駒ヶ岳・神山】…3月27日 くもり 34名

- ・予報がはずれ、曇り空でとても寒い。雪は2~3cm。
- ・つららもたくさんあり、雪道はすべりやすかった。
- ・人出は多くて、大涌谷の駐車場への道路は大渋滞。

【第124回 蛾ヶ岳(ひるがたけ)】…4月24日 くもり 35名、貸切バス

- ・曇り空で寒い。前日の雨で道がぬかるんでいて歩きにくい。
- ・遠望は利かなかつたが、甲府盆地、富士周辺の山、奥秩父、茅ヶ岳、八ヶ岳等は見えた。
- ・四尾連湖畔の桜が丁度見頃だった。

【第125回 古峰原、方塞山(こぶがはら、ほうさいざん)】…5月23日 雨 32名 貸切バス

- ・生憎の雨、気温も低く快適なコンディションではなかったが予定どおり方塞山まで登った。
- ・麓ではヤマツツジが満開、山中はミツバツツジとシロヤシオが目を楽しませてくれた。

第126回 霧ヶ峰・車山】・・・7月21日、晴、48名、貸切バス

- ・ お目当てのニッコウキスゲはポツポツとしか咲いていなかった。また列島が焦熱地獄の時期で涼しいはずの霧ヶ峰もかなり暑かった。
- ・ しかし時折吹く風はさわやかで、ハクサンフウロ、シモツケソウ、ヨツバヒヨドリ、ヤマオダマキ、チダケサシ等夏の花々を心ゆくまで楽しんだ。
- ・ 白樺湖すずらんの湯は貸切状態でゆっくり休めた。

【第127回 御坂黒岳】・・・9月25日、晴、30名、貸切バス

- ・ 朝は雨、出発時には止んでいた。黒岳の展望台では富士山の頂上は雲がかかっていたが、河口湖や周辺の山は見えた。
- ・ 釈迦ヶ岳では快晴になり360度の大展望だった。
- ・ ミヤマトリカブトがたくさん咲いていた。

【第128回 浅間隠山（あさまかくしやま）】・・・11月20日、晴、43名、貸切バス

- ・ 好天の土曜日とあり、久しぶりの関越道は渋滞し、登山口到着が40分も遅れてしまった。
- ・ 頂上からの展望は360度だが、天気がよすぎて霞がかかってしまい、雄大な浅間山がはっきりと見えなかったのは残念だった。
- ・ コースも楽で、落葉を踏んでの快適な山行だった。

【第129回 高岩山（たかごやま）】・・・12月17日、晴、41名、貸切バス

- ・ 12月としては初めての平日（金曜日）開催だが41名もの参加があった。
- ・ 気温は低かったが朝はよく晴れ、快適な忘年山行となった。
- ・ 下山後2010年各表彰を行った。  
(皆勤賞) 吉野、北見 (2)、腰塚、塩谷、吉村 (3)、郡司 (4)、高須 (5)、橋本、白神 (7)、  
田中、早坂、早坂富、小谷、小出 (8) 14名  
(企画賞) 2月縞枯山・茶臼山 (7期小林委員)  
(100回参加賞) 郡司 (4) (30回参加賞) 橋本 (7)



企画賞受賞月例会  
10.21 縞枯山・茶臼山

■2010年実施状況

[月別実施状況]

回	月	コース	天候	幹事	参加者	摘要
第121回	1.23 (土)	大丸山	○	6.近藤	50	
第122回	2.21 (日)	縞枯山・茶臼山	○	7.小林	37	貸切バス
第123回	3.27 (土)	神山・駒ヶ岳	◎	8.田中	34	
第124回	4.24 (土)	蛾ヶ岳	◎	7.服部	35	貸切バス
第125回	5.23 (日)	古峰原・方賽山	●	6.岡田	32	貸切バス
第126回	7.21 (水)	車山・霧ヶ峰	○	2.吉野	48	貸切バス
第127回	9.25 (土)	御坂黒岳	○	3.腰塚	30	貸切バス
第128回	11.20 (土)	浅間隠山	○	8.早坂	43	貸切バス
第129回	12.17 (金)	高岩山	○	4.郡司	41	貸切バス
					350	月平均 38.9

[皆勤賞]

14名

期	氏名	通算回数
2期	吉野大次郎	10回目
2期	北見美智子	5回目
3期	腰塚 典明	11回目
3期	塩谷佐紀子	5回目
3期	吉村 元孝	4回目
4期	郡司 直樹	4回目
5期	高須 靖子	初受賞
7期	白神 逸夫	初受賞
7期	橋本 明美	初受賞

[50回参加賞]

期	氏名	通算回数
2期	宮本 高子	54
8期	田中 稔	53

[30回参加賞]

期	氏名	通算回数
6期	古荘 敏子	32
7期	小林 桂子	34
7期	南雲 和江	35
7期	橋本 明美	30

期	氏名	通算回数
8期	早坂 宗	2回目
8期	田中 稔	2回目
8期	小谷 昌男	2回目
8期	小出 徹	初受賞
8期	早坂富美子	初受賞

[100回参加賞]

期	氏名	通算回数
4期	郡司 直樹	101

(通算回数は10年12月現在)

■通算実施状況 (1999~2009年)

[参加者数]

年	実施回数	参加者	
		回	人
99年	10	238	23.8
00年	11	304	27.6
01年	10	317	31.7
02年	9	340	37.8
03年	11	337	30.6
04年	10	332	33.2
05年	11	367	33.4
06年	12	397	33.1
07年	11	345	31.4
08年	9	326	36.2
09年	9	367	40.8
10年	9	350	38.9
計	122	4020	33.0

[企画賞]

年	月	コース	幹事
00年	12月	石割山	7期小林
01年	6月	尾瀬ヶ原	4期斎藤
01年	11月	大菩薩嶺	2期塚原
02年	5月	甘利山	7期小林
03年	5月	榛名山	2期塚原
04年	03.12月	仏果山	8期田中
04年	1月	宝登山	1期嘉納
05年	9月	箱根・仙石原	4期谷上
06年	1月	入笠山	7期小林
06年	11月	赤城・地蔵岳	8期田中
07年	10月	物見山	3期腰塚
08年	10月	茶臼山	7期服部
09年	6月	荒山・鍋割山	2期吉野
09年	11月	伊豆・踊子歩道	4期郡司
10年	2月	縞枯山	7期小林

[参加者数ベストテン]

順位	コース	年月	幹事	参加者
1	湯坂路	09年12月	7期小林	56人
2	A.鎌倉天園 B.寺社巡	06年1月	7期小林	51
3	横浜・大丸山	10年1月	6期近藤	50
4	高川山	08年12月	6期近藤	49
5	伊豆・踊子歩道	09年11月	4期郡司	48
5	霧ヶ峰	10年7月	2期吉野	48
7	鎌倉・源氏山公園	02年1月	3期江崎	47
7	荒山・鍋割山	09年6月	2期吉野	47
9	三原山	05年1月	4期谷上	46
10	磐梯山	04年8月	8期田中	45

[皆勤賞受賞回数ベストテン]

順位	氏名	回数
1	3.腰塚 典明	12回
2	2.吉野大次郎	11
3	7.古宮智津子	8
4	3.塩谷佐紀子	6
5	2.北見美智子	5
5	3.白井 信行	5
5	3.吉村 元孝	5
5	4.郡司 直樹	5
5	7.林 誠一	5
10	4.谷上 俊三	3
10	4.大黒美代子	3
10	6.岡田 光豊	3

## ■ 期別便り

### 1 期の現状

嘉納秀明 (1 期)

皆さんにアンケートで伺いました。  
2 年まで一緒に活動された、加藤さん、山上さんにも近況を頂きました。

**田上 栄一** 神戸で女房と二人暮らし、元気にしています。旧関西支部のメンバーと年に 6~8 回ハイキングに出かけるほか、シルバーカレッジの OB と月に 1 回山歩き (さんぽ) に行き、たまに泊りがけで、出かけます。

今までに久住山、谷川岳、北海道の山に登りました。又、別の仲間と兵庫県の自然歩道を歩いています。毎日曜日、近くの小学校で卓球をしています。

**桑原 忠雄** 前から腰を悪くしてあまり遠くへは行けないが、10 年くらい前から、文京区の写真の会に入って、白黒のフィルム写真を追求している。現像、焼き付けもすべて自分でやり、月一回の作品批評会や年一回の展覧会の世話役もしている。

昔から音楽鑑賞が趣味でテープを集めてきたが、最近は録音技術が良くなって、CD で聞き直して改めて演奏の良さを認識することも多い。落語も好きで元さん (望月さん) と月に一度、TBS の落語研究会を聞きに行く。

**佐藤 文雄** 本年の賀状に曰く、常々「百二十才まで生きるのだ」と豪語しておりましたが、昨年 11 月 28 日の夕刻に一時あの世に旅して参りました。無事帰還しましたが、医師の見立てでは「一過性脳虚血症」とのことでした。それ以来、百二十歳生存説は引込めようとは思っておりますが、この地球がどうなるやら、この国がどうなるやら、やはり見届けたい気持ちで一杯です。そして希望を持って皆様と一緒に生きていこうと思っています。

「めでたさも 中くらいなりおらが春」一茶

60 歳になってから始めたゴルフは年 50 回弱はこなし、東京、軽井沢にも足を運んでいるとのこと。

**吉田 輝義** 年 2 回はフルマラソンに出ることにしている。今年は 4 月掛川新茶マラソン、10 月島田大井川マラソンに出る予定である。この準備のため週 2、3 回 2 時間前後走る。

7 年前から陶芸を習っており、毎週 1 度は師匠の家まで約 15km を自転車で行く。これも良いトレーニングになる。いまは轆轤 (ロクロ) で径 30cm の大皿に挑戦中、形をキッチリ定めるのが難しい。自宅に隣接の土地を最近購入し、畑にして各種野菜を作っている。

**吉田 光志** ワンゲルにいた頃は、山よりも未知の地にさまよって行くのが好きであった。会社に入るとドイツに派遣されたが、ドイツ人と話し合っている内に、第一次大戦と第二次大戦の間の混沌としたドイツ社会にあって若者達が何かを求めて南の方にさまよい出た心情を感じ取ることが出来た。今思うと、あのとき、私はワンゲルの語源と意義を真に実感したのではないかと思う。

現在は地域の環境保全活動に邁進している。座間市から寒川に流れる目久尻川の環境改善の奉仕活動をしている。

**望月 元雄** ほとんどの趣味もやめて、母の介護に専念している。元気にはしていますが、ほとんど外出もしません。

**藤岡 暉生** 一昨年末に発症した脊椎間狭窄症のため、負荷を掛ける山登りが全く出来なくなりました。しかし、腰のしびれには悩まされていますが、日常生活には支障のない程度です。ゴルフ、テニス、スキー、スキューバなどや自治会活動は何とかやれています。

**河野 哲** 70歳でやめるつもりであった零細企業をまだやっています。余暇にはテニスを続けており、妻とウォーキングで江の島海岸あたりまで往復一時間をよく歩いています。

**大河平(加藤) 宜子** 卒業後1年間教師をした後、ヤマハ音楽教室の講師を長く続けました。草創期の幼児教育は夢と活気があり、とても面白い時代でした。

20年前から越谷の住人になり、音楽を通して近所の子供達と接し、子供達から元気！をもらっておりました。今は居住するマンション内での集まり「ふれあいサロン」で、歌の時間を受け持ち、キーボード持参で出向いています。「琵琶湖周航の歌」「雪山賛歌」等の元気な歌声は、即50年前の立野のあの部室と重なります。一期の皆さんと過ごした、若さ溢れた1年間を懐かしんでおります。今後のワングル・OB会のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

**山上 和代** 60代になって、音楽科の同期生4人でデュオの会というのを結成してピアノの演奏と合唱を楽しんでいます。また、中学時代の同期の集まりで、神奈川県歴史散歩で運動と知識の向上に励んでいます。

**嘉納 秀明** 定年て丈夫なうちはいいですね、青春の日の夢が今実現しているようです。家事以外は部屋に引きこもって、数式をひねくっています。やっぱりこれが一番好きだったようです。そして午後の花の道を何者でもなく歩いています。夕餉の買い物のために。



1期の集まりにて

## 自由投稿

### OB 山行 箱根山

堀内章子 (18 期)

私は、今回初めて OB 山行に参加しました。本当に久しぶりの山登りで、当初、不安がありましたが、今は「山はやっぱりいい！ワンゲルはすばらしい！！次もまた参加したい」このように思っています。

まずは、当日に至るまでに何度もメールをいただき、しかも、事前に足を運んで現地の状況を報告してくださるなど、OB 山行の組織力に驚きました。私の不安はメールを読むたびに解消され、当日の朝集合場所で皆さんにお会いしたときには、初めてお会いする方がほとんどだったにもかかわらず、以前から存じ上げていたような親しみを覚え、安心して参加することができました。

大涌谷から駒ヶ岳までの登山は、北斜面にはさらさらの雪が積もり、美しくまた楽しいものでした。雪を踏む足音。白い雪の上に残る緑の葉と赤い実の鮮やかさ。風向きに逆らって枝々にのびるエビのしっぽ(?)が青い空に映え、下界からは町の音が時折響いてきました。

そして、何よりも同行する方たちの穏やかな会話や温かさが、この山行の楽しさを2倍にも3倍にもしてくれました。

駒ヶ岳からは、芦ノ湖と雄大な富士山を臨み、頂上の神社からは相模湾と芦ノ湖、富士山を一望することができました。駒ヶ岳には何回か来たことがありましたが、このような景色は初めてで、その素晴らしさに息をのみました。

そこからの下山は普通ならばロープウェイでしょうが、そこはワンゲルです。姥子まで歩きました。長いトラバースを終えると、最後は急な下りで、滑らないようにと気をつけてはいても、ちょっとしたすきにバランスを崩します。それがまた楽しく、本格的な登山をしているような気さえしました。

今回の山行では、山の楽しさを久々に堪能しただけでなく、1 期の嘉納さん始め、これまでににお会いしたことのないたくさんの方の先輩方にお会いしてお話をするのができ、ワンゲルに在籍してよかったと心から思いました。

最後になりましたが、幹事の 34 期の小野さん、17 期の小浜さん、18 期の山口さんにはこのような機会を与えていただき心からお礼を申し上げます。

今後も参加したいと思っています。次からはもう少し同期を誘って・・・。



堀内さん、懇親会デビュー

# ■ YWV現役部員の活動紹介

主将 佐藤琢真 (53期)

## 新主将紹介

現役53期、新主将になりまりました佐藤琢真です。まず自身の自己紹介から。

工学部生産工学科 2009年度入学生で、登山経験は高校の山岳部からです。出身は秋田ですがスキー・スノーボードは苦手です…。

ワンダーフォーゲル部の主将として、先代の野中主将の意志を受け継ぎ、楽しい登山活動を通して各々の部員が安全に登山できる能力を養っていきたいです。

## 近況の活動報告

近況の活動は、1月に苗名小屋を利用したスキー合宿、2月に苗名小屋の雪下ろしに行きました。

1月のスキー合宿は僕自身は参加できなかったのですが、参加した部員はスキーの技術向上を図ることができたようです。(天候が最悪だったようですが…)

2月の雪下ろしは、苗名小屋への愛着をわかせる、現役部員とOBのコミュニケーションを図ることができたと思います。

雪下ろし参加者は感想を……

54期 斎藤：昨年とはとても大変だったと聞いていたの  
で少し不安でしたが、楽しみながら作業  
ができてとてもよかったです。これから  
も小屋に関わっていきたいと思いました。

54期 谷口(貴)：酒はうまいし、スキーも楽しくて  
とても幸せでした。

54期 軍司：初めての雪下ろしでしたが、快晴でとて  
も楽しく過ごせました。

……と挙げています。もっと苗名小屋を利用  
したいと全員思ってくれたようで非常にうれしいです。



## 2011年度 活動予定

今後の活動として春合宿は九州の祖母・阿蘇・由布をまわり、新人歓迎登山は丹沢の大山、新人錬成は奥多摩を考えています。経験者・未経験者を問わず、充実した登山活動ができるように全員で協力していきたいです。

また2011年度の最大の活動として「夏山合宿で北海道の大雪山系を縦走する」を目標に、体力・登山知識をつけていきます。

今年度は、その他、燧ヶ岳への山行の計画、苗名小屋の利用促進を考えています。

全員が楽しめる年度にしていきたいです。



2011.2.19 撮影 笹倉氏 (30期)

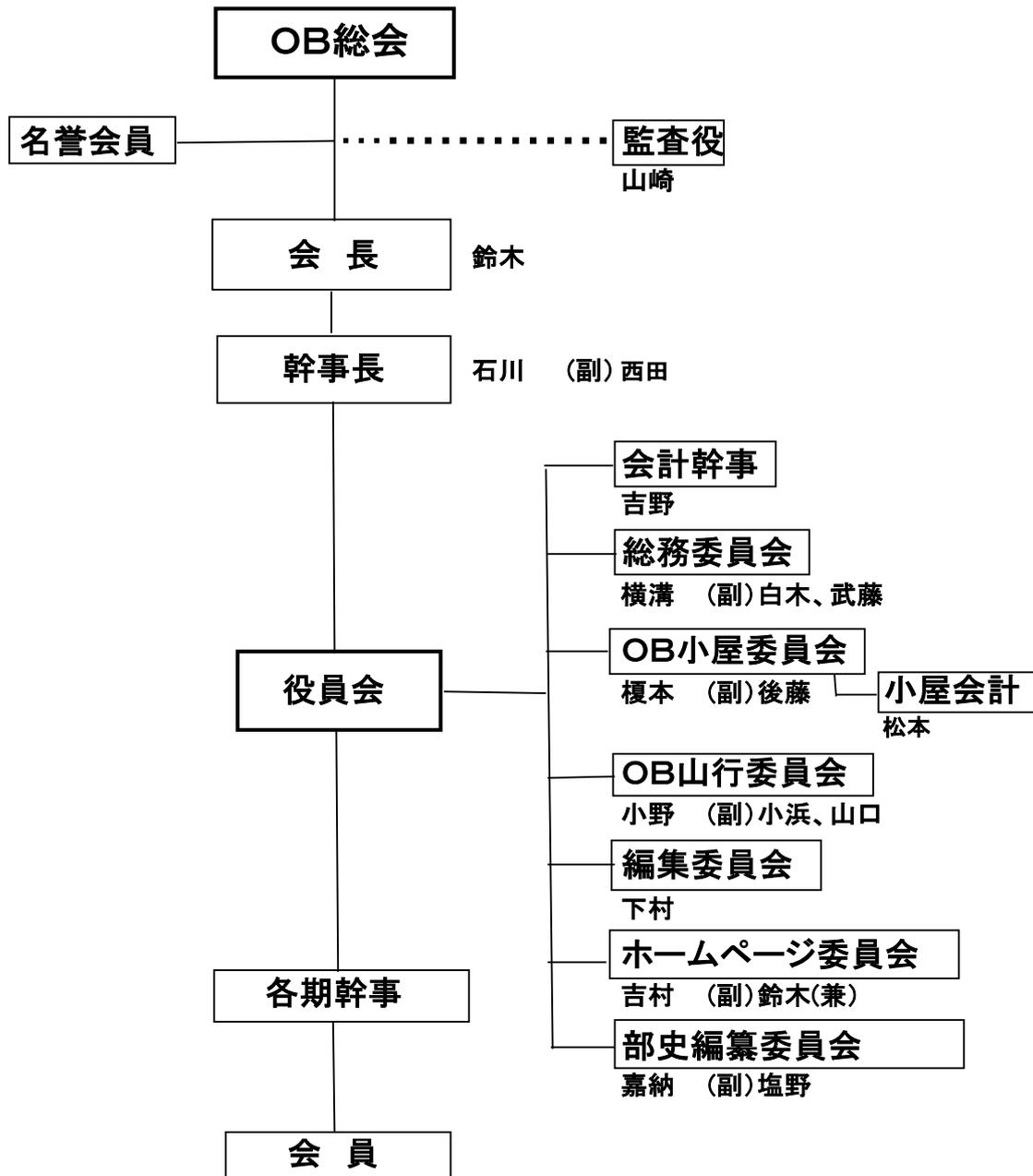
※ 現役部員のホームページ <http://www25.atwiki.jp/ynuww/>

## ■ YWVOB会の組織図

現在 YWVOB 会は会則に則り、下のような組織で運営されています。

### 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会・組織図

10.10.30



## ■ 編集委員からのお知らせ

【訃報】 江崎伴雄氏（3期）が2011年3月1日逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈りします。

【お見舞い】 このたびの東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。



車山から望む八ヶ岳  
2011.2.19  
撮影 谷上氏 (4期)

編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。  
自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。

宛先 下村 蓉子 (10期) [shimomurayouko@ybb.ne.jp](mailto:shimomurayouko@ybb.ne.jp)  
松本真理子 (8期) [marihiro@cc.catv-yokohama.ne.jp](mailto:marihiro@cc.catv-yokohama.ne.jp)  
石垣 秀敏 (20期) [gakky@s2.dion.ne.jp](mailto:gakky@s2.dion.ne.jp)

### YWVOB 会会報第 47 号

発行 行 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会  
発行 日 : 2011 年 4 月 1 日  
発行 責任者 : 鈴木弥栄男 (9)  
編集 責任者 : 編集委員長 下村 蓉子 (10)  
編 集 : 編 集 委 員 松本真理子 (8) 石垣秀敏 (20)  
印 刷 所 : 株式会社 カワチヤ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)  
編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。